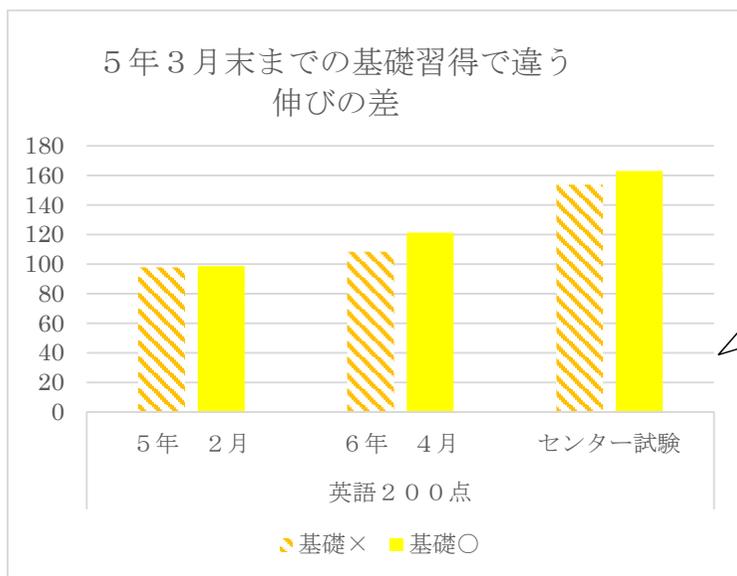


修了式を迎えました。それぞれが次のステップに進めるよう有意義な春休みを過ごしてください。

◎入試基礎力の差！

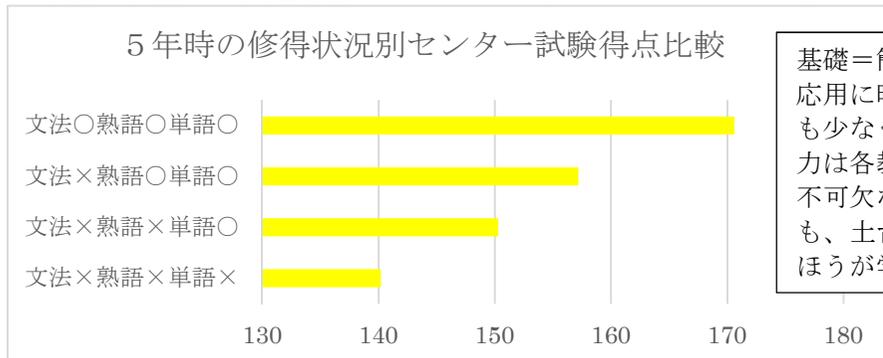
参考資料：東進データ

以下のデータは、5年2月とセンター試験本番との「英語の得点」を比較したものです。5年生の時点での基礎力修得の有無がセンター試験本番に大きく影響していることがわかります。



最初はほぼ同点でも最終的には約10点の差。1点を争う入試での影響は大きいですね。

★単語・熟語・文法を修得しているかどうかの差は30. 4点！



基礎＝簡単だと思い込んで、応用に時間をかけてしまう人も少なくない。しかし、基礎力は各教科を理解するために不可欠なもの。伸びるためにも、土台をしっかりと固めたほうが学習効率も高まる。

また、難関大に現役合格した生徒に行った「受験勉強を最初に開始した科目」に関するアンケート調査では、1位が英語（58.5%）で、2位の数学ⅠA（9.3%）となり、英語が大きく上回っています。英語の配点が大きい大学も多いので、自分の課題科目と合わせて春休みに強化していきたいですね。

◎卒業生の先輩より

先日、1年浪人していた卒業生の先輩が、難関大合格の報告も兼ねて遊びにきました。その先輩が話してくれたことをご紹介します。

自分は勢いだけで勉強するところがあったが、学習時間や内容を記録するようになったことで安定して学習するようになった。最初は面倒だったが、次第につけないほうが落ち着かなくなるほど記録をつけることが習慣化し、伸びも実感できた。

今、未来手帳を活用していますか？

どれだけ継続的に学習できるか、自分の課題克服には何が必要かを把握することが大切です。

併願校として受けた中堅大学の今までの合格ラインは7割。成績開示をして詳細を確認すると、今年は8割が合格ラインになっていたことにびっくりした。

今の厳しい受験状況を物語っていると思いませんか？ここ数年の傾向と異なり、合格校があっても浪人するという人も増えてきました。今年度は私文の浪人者が例年以上に多い年でしたが、予備校の方に伺うと、来年度はそれをさらに上回る状況とのことです。2021年度入試を前に、厳しい戦いは今後も続きそうです。だからこそ入試での点差を分ける基礎力をしっかりつけておきましょう。

◎ポートフォリオ入力

先日、4年生はHRでポートフォリオ入力を行いました。多面的・総合的な評価を意識した大学入試が増えている今、学業面はもちろん、さまざまな経験を積んで自分を高めていきましょう。

◎ちょっと寄り道 ～世界に目を向けて～

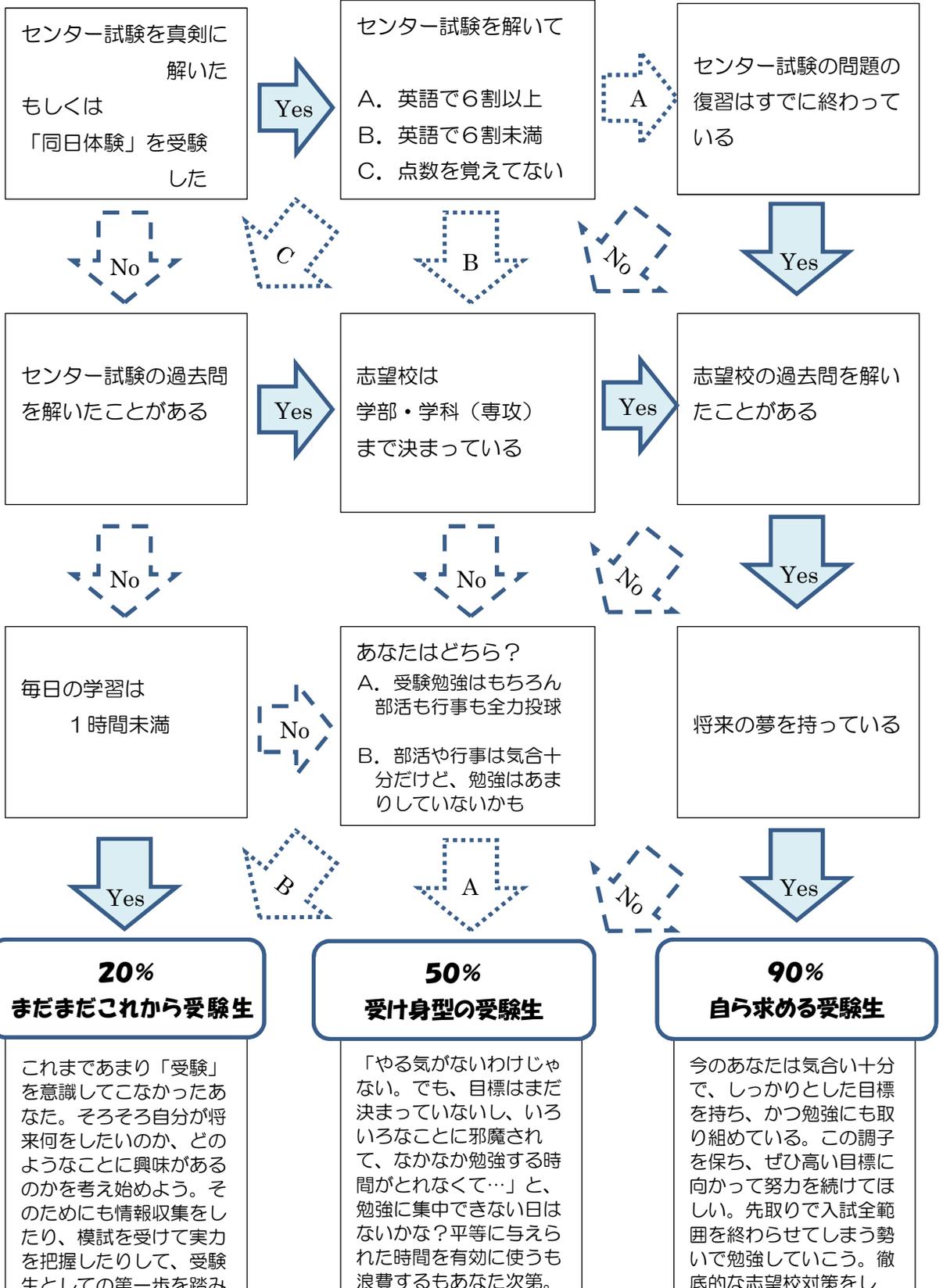
街中で外国の方を見かけることも多くなりましたね。言葉を知っているだけで、世界をわかることはできません。今、世界の関心が高まる東南アジアとイペロアメリカについて、言葉から見えるそれぞれの価値観を紹介します。参考資料：神田外国語大学資料より

インドネシア Apa boleh buat (アパ・ボレ・ブアット) 「仕方がない」「どうしようもないさ」	シンガポール KIASU (キアス) 「負けず嫌いな」「負けるのが怖い」	ベトナム Tien hoc le hau hoc van 「教養を身につける前に礼節を学べ」
インドネシア人の性格を象徴するような言葉。日常的によく使われ、何かトラブルが起こっても「神様が決めることなので受け入れよう」と明るく前を向きます。インドネシア語の特徴はなんといっても覚えやすさ。ローマ字読みで理解できるように、文法もシンプルです。	シンガポール人の価値観を象徴するような言葉で、英語と中国語、マレー語が混じり合った「シングリッシュ」の代表とも言える言葉。シンガポールは「小学校の成績で人生が決まる」と言われるほどの超競争社会でもあるため、人一倍「負けたくなく」「誰よりも得をしたい」という意識が強いようです。	礼節を重んじるベトナム人ならではのことわざ。ベトナム語には中国の影響を受けた言葉が多く、日本語に似ているものがたくさんあります。フランスの影響もあり、文字はアルファベットと声調符号で表記。文法も基本的には英語と同じですが、小鳥のさえずりのような発音は練習が必要です。
タイ 「今日を一番いい日にしないでいいんだよ。明日やるのがなくなっちゃうから」	スペイン Que sera sera (ケセラセラ) 「なんとかなるさ」	ポルトガル Quem canta, seu mal espanta 「歌うものは、不幸を追い払う」
ガツガツせず、マイペースに。そんなタイ人のおおらかさを感じさせる言葉。独特なかわいらしさがあるタイ文字(表記できません)ですが、その発音も美しく「まるで音楽のよう」と評されることも少なくありません。その反面、声調で意味が変わってしまうことも多く、まるで楽譜を	映画の楽曲で使用されたことから広く知られるようになりました。スペイン人の楽天的な性格を象徴するような言葉ですが、文法的には「Lo que sera sera」が正解。スペイン語は日本語と同じ5母音でローマ字読み近く、日本人でもなじみやすい言語と言えます。	ポルトガル語のことわざ。陽気なラテン気質、前向きな性格がうまく表現されています。ポルトガル語はローマ字読みで発音できることが多く、「にゃ」「にょ」など日本語と同様の鼻音があることから、比較的、日本人が入りやすい言語だと言われています。おそらく、最初の壁となる

覚えるように発声方法を練習する必要があります。

のは、約 30 種に及ぶ動詞の活用。慣れるまでには多少の努力が必要です

◎あなたの受験生度は何%？



◎自分を高める学習をしましょう

以下の「勉強十戒」は旺文社の創業者である赤尾好夫さんの言葉です。今年1年の自分の学習を振り返り、春休みを、そして今後の学習をどうしていくべきか考え、実行に移しましょう。

勉強十戒

- 一、学習の計画を立てよう
計画のないところに成功はない
- 二、精神を集中しよう
集中の度合いが理解の度合いである
- 三、ムダをはぶこう
戦略の第一は時間の配分にある
- 四、勉強法を工夫しよう
工夫なき勉強に能率の向上はない
- 五、自己のペースを守ろう
他をみればスピードはおちる
- 六、断じて途中でやめるな
中断はゼロである
- 七、成功者の言に耳を傾けよう
暗夜を照らす灯だ
- 八、現状に対し臆病になるな
逃避は敗北である
- 九、失敗を謙虚に反省しよう
向上へのクッションがそこにある
- 十、大胆にして細心であれ

小心と粗放到勝利はない

1月模試の結果も返却されましたね。きちんと振り返っていますか？